

社員の健康管理の一助に 歯周疾患検診を実施中

歯周疾患検診票

検診日: 2018年4月17日

名前	武田英昭	性別	男	生年月日	1970-02-24	住所	山形県高田市三丁目19-17
フリガナ	タケダヒデアキ	担当	結城 尚純	診療時間	8:00-20:00 (2F47) 02.00	来院回数	0回

現在歯・歯肉の状態 (歯肉の色、歯肉の腫れ、歯肉の出血、歯肉の退縮、歯肉の陥凹、歯肉の厚み、歯肉の弾力性、歯肉の温度、歯肉の湿度、歯肉のpH、歯肉の酸素分圧、歯肉の血流、歯肉の代謝、歯肉の免疫反応、歯肉の神経伝達、歯肉の内分泌、歯肉の細胞増殖、歯肉の細胞分化、歯肉の細胞死、歯肉の細胞老化、歯肉の細胞再生、歯肉の細胞修復、歯肉の細胞老化、歯肉の細胞再生、歯肉の細胞修復)

歯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
歯肉の状態	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
歯肉の出血																				
歯肉の退縮																				
歯肉の陥凹																				
歯肉の厚み																				
歯肉の弾力性																				
歯肉の温度																				
歯肉の湿度																				
歯肉のpH																				
歯肉の酸素分圧																				
歯肉の血流																				
歯肉の代謝																				
歯肉の免疫反応																				
歯肉の神経伝達																				
歯肉の内分泌																				
歯肉の細胞増殖																				
歯肉の細胞分化																				
歯肉の細胞死																				
歯肉の細胞老化																				
歯肉の細胞再生																				
歯肉の細胞修復																				

歯肉の状態: 炎症が起きている箇所
歯肉の出血: 3
歯肉の退縮: 3
歯肉の陥凹: 3
歯肉の厚み: 3
歯肉の弾力性: 3
歯肉の温度: 3
歯肉の湿度: 3
歯肉のpH: 3
歯肉の酸素分圧: 3
歯肉の血流: 3
歯肉の代謝: 3
歯肉の免疫反応: 3
歯肉の神経伝達: 3
歯肉の内分泌: 3
歯肉の細胞増殖: 3
歯肉の細胞分化: 3
歯肉の細胞死: 3
歯肉の細胞老化: 3
歯肉の細胞再生: 3
歯肉の細胞修復: 3

歯肉の状態 (歯肉の色、歯肉の腫れ、歯肉の出血、歯肉の退縮、歯肉の陥凹、歯肉の厚み、歯肉の弾力性、歯肉の温度、歯肉の湿度、歯肉のpH、歯肉の酸素分圧、歯肉の血流、歯肉の代謝、歯肉の免疫反応、歯肉の神経伝達、歯肉の内分泌、歯肉の細胞増殖、歯肉の細胞分化、歯肉の細胞死、歯肉の細胞老化、歯肉の細胞再生、歯肉の細胞修復)

歯肉の状態 (歯肉の色、歯肉の腫れ、歯肉の出血、歯肉の退縮、歯肉の陥凹、歯肉の厚み、歯肉の弾力性、歯肉の温度、歯肉の湿度、歯肉のpH、歯肉の酸素分圧、歯肉の血流、歯肉の代謝、歯肉の免疫反応、歯肉の神経伝達、歯肉の内分泌、歯肉の細胞増殖、歯肉の細胞分化、歯肉の細胞死、歯肉の細胞老化、歯肉の細胞再生、歯肉の細胞修復)

歯肉の状態 (歯肉の色、歯肉の腫れ、歯肉の出血、歯肉の退縮、歯肉の陥凹、歯肉の厚み、歯肉の弾力性、歯肉の温度、歯肉の湿度、歯肉のpH、歯肉の酸素分圧、歯肉の血流、歯肉の代謝、歯肉の免疫反応、歯肉の神経伝達、歯肉の内分泌、歯肉の細胞増殖、歯肉の細胞分化、歯肉の細胞死、歯肉の細胞老化、歯肉の細胞再生、歯肉の細胞修復)

歯肉の状態 (歯肉の色、歯肉の腫れ、歯肉の出血、歯肉の退縮、歯肉の陥凹、歯肉の厚み、歯肉の弾力性、歯肉の温度、歯肉の湿度、歯肉のpH、歯肉の酸素分圧、歯肉の血流、歯肉の代謝、歯肉の免疫反応、歯肉の神経伝達、歯肉の内分泌、歯肉の細胞増殖、歯肉の細胞分化、歯肉の細胞死、歯肉の細胞老化、歯肉の細胞再生、歯肉の細胞修復)

職場定着支援助成金「健康づくり制度」の導入に当って社員の健康診断の一環として、生活習慣病の予防検診となる「歯周疾患検診」を今年から毎年、社員全員を対象に受診するようにしました。

検診結果は、まだ全員終わっていないのですが、今まで受診したほとんどの社員に「要指導」の印がついていました。私は異常なしに丸印がついていたので、日頃の歯磨きの習慣が評価されたようで、ほっとしました。検診の一つとして、歯ぐきに針のようなものを刺して出血するかどうかを調べるのですが、刺され

る度に「チク」として痛さをこらえなければならませんでした。

赤丸印が出血箇所ですが、私の場合も何か所もありました。

出血箇所は悪くなりつつあり、進行中との事でした。

そして歯周ポケットと言われる歯と歯ぐきの間の隙間を表す数字が私はほとんど「4」でした。

4から6までの数字は初期から中期までの数字で「3」以下は正常で健康状態だそうですが、「3」以下の人はほとんどいないそうです。

「7」以上の人は歯周病が進んでいる状態だそうです。

「4」という数字の意味は歯と歯ぐきの間の溝の深さが縦に4ミリあるのだそうです。

私は、「3」以下でないで、がっかりしたのですが、検診の先生の話では、年と共にこの溝は深くなってしまおうそうです。

「武田さんの年齢では正常の範囲になりますね。歳相応でこれも老化の現象ですよ。」と言われました。

正常の範囲と言われたのはうれしいのですが、老化の現象と言われたのは、やはり老化を抑える事は無理なのかと、ちょっとがっかりしました。

それから、私は「口腔清掃状況」は良好でしたが社員のほとんどは良好の次の普通でした。

歯石の付着については、私は「軽度（点状）あり」でしたが社員の中には中等度（帯状）以上ありの人も半数位いました。

私は最近、3度の食後に歯磨きをしているのですが、それでも歯石は付着してしまおうようです。これ以上は限界だと思いました。

今回からの歯周疾患検診で、社員みんなが自分の歯について指導された事をきちんと受け止めて何か歯についての対応が変わってくれればいいなあとと思っています。

武田英昭

“どんまい どんまい”を読んでいかがだったでしょうか。「あなた」の感想をお聞かせ下さい。
電話 023-644-5633 FAX 023-644-5663 武田英昭までお願いします。
㈱テラ陶板浴タケダのホームページが出来ました。料金改定してフリーパスもスタートします。
㈱テラ陶板浴タケダ <http://tera-takeda.com> こちらも見てください。

